

ヤマヒメ

6月15日に赤沢定置網に従事しておられる武谷充治さんから電話をいただき、初めて見るカサゴのような、ハオコゼの大きいような魚を獲ったとのことでした。早速伺って冷凍した魚をいただてきました。

6月14日に赤沢沖の岩礁域の水深50~60mで釣ったとのこと、全長は26cm、体重は294gありました。調べてみると、ハオコゼ科のヤマヒメです。ハオコゼを大きくしたような魚で、胸鰭が長いこと等で他のハオコゼ科の魚と区別できます。日本産魚類検索(東海大学出版会)によれば、相模湾~奄美大島の水深90mの岩礁に生息するとのこと。web上で神奈川県立生命の星・地球博物館と国立科学博物館が運営する魚類写真資料データベースで調べると、赤沢等の伊東市沿岸で水中撮影された記録があります。筆者も沼津市の大瀬崎で本種の幼魚を一度見たことがあります。しかし、少し深い所に生息し、分布量も少ないため漁業で漁獲されることもめったにない珍しい魚です。

希少な魚なので食用にできるのかどうかの記述もなかなか見つかりません。オコゼの仲間なら美味しいかも?と食いしん坊の妄想が膨らむだけです。

貴重なサンプルや情報をいただいた武谷さん、ありがとうございました。この貴重な標本は神奈川県立生命の星・地球博物館で保存されることになりました。今後とも皆様の貴重な情報をお待ちしています。



写真1 ヤマヒメ

(御宿昭彦)